

③ 殺虫剤抵抗性関連記事						
●「植物防疫」掲載記事 (2017～2023)	一般社団法人 日本植物防疫協会 : https://www.jpba.or.jp/					
	2019年以前(全頁) https://www.jpba.or.jp/archive/					
	2020年以降(初頁) https://jpbaonlinestore.raku-uru.jp/item-list?categoryid=82646					
記事・論文名	掲載誌	年	巻	号	頁	著者
イネドロオウムシの薬剤抵抗性と対策——北日本の場合——	月刊「植物防疫」	1996	50	10	401	佐藤正彦
イネドロオウムシの薬剤抵抗性と対策——関東地方の場合——	〃	1996	50	10	406	大谷徹ら
長距離移動性種ウンカ類の殺虫剤抵抗性	〃	2000	54	2	54	永田徹
殺虫剤抵抗性機構の解析と今後の課題	〃	2012	66	3	162	園田昌司
殺虫剤抵抗性管理の原理	〃	2012	66	7	380	鈴木芳人
四国におけるネギアザミウマ生殖系統の分布とその薬剤感受性	〃	2013	67	12	666	十川和士ら
日本に飛来するトビイロウンカとセジロウンカの薬剤感受性の長期的変動	〃	2015	69	1	13	松村正哉
宮崎県におけるネオニコチノイド抵抗性ワタアブラムシの発生	〃	2015	69	2	92	松浦明
海外飛来に伴うヒメトビウンカの薬剤抵抗性の変化とリスク評価	〃	2016	70	2	112	真田幸代ら
チャノコカクモンハマキにおけるテブフェノジド抵抗性の遺伝様式	〃	2016	70	5	309	内山徹ら
農林水産省における薬剤抵抗性対策に向けた取組状況	〃	2017	71	4	269	白石正美
平成29年1月シンポジウムから 持続的な病害虫制御を見据えた薬剤抵抗性管理と新規の殺菌剤・殺虫剤の開発	〃	2017	71	5	337	山本敦司
平成29年1月シンポジウムから 薬剤抵抗性対策研究の取り組み状況と期待される成果	〃	2017	71	5	347	野田隆志ら
世代間ローテーションを基礎とした新たな殺虫剤抵抗性管理戦略とIRACの活動	〃	2017	71	10	675	島 克弥
「薬剤抵抗性農業害虫管理のためのガイドライン案」活用のメリット	〃	2019	73	6	347	中島信彦
ワタアブラムシにおけるネオニコチノイド抵抗性発達メカニズムの解明と診断法の開発	〃	2019	73	6	352	土田 聡ら
ナミハダニのエトキサゾール抵抗性と診断法	〃	2019	73	6	357	刑部正博
ツマジロクサヨトウの中国における分布拡大と日本への侵入警戒	〃	2019	73	7	434	松村正哉ら
トビイロウンカのイミダクロブリド抵抗性の遺伝様式	〃	2019	73	8	474	真田幸代
チャノコカクモンハマキにおけるジアシルヒドラジン系IGR 剤(テブフェノジド剤) 抵抗性発達メカニズムの解明と診断法の開発	〃	2019	73	10	604	浅野(内堀)美和ら
殺虫剤抵抗性管理農業生産現場への普及の取組み	〃	2019	73	12	766	山本敦司
ナミハダニ個体群構造の遺伝的解析による殺ダニ剤感受性低下個体群の分布要因の推定	〃	2020	74	3	126	羽田 厚
野外個体群の長期の薬剤感受性データと人為選択個体群を用いたトビイロウンカのネオニコチノイド系殺虫剤に対する交差抵抗性の解析	〃	2020	74	5	271	藤井智久
殺虫剤のローテーションの深い理解と抵抗性管理防除層	〃	2020	74	4	236	島 克弥
殺虫剤抵抗性リスク評価表 抵抗性リスクを見える化して対策へつなげる	〃	2021	75	1	16	山本敦司ら
新潟県におけるネオニコチノイド低感受性のアカヒゲホソドリカスミカメの発生と今後の対策	〃	2021	75	3	151	石本万寿広ら
薬剤抵抗性病害虫の発生状況と対策の取組について	〃	2022	76	6	312	岡田和秀ら
ネギアザミウマの各生殖型における薬剤感受性および寄主作物について	〃	2022	76	11	2	城塚加奈子
香川県におけるネギアザミウマの生殖系統の発生状況と薬剤感受性について	〃	2022	76	11	6	相澤美里ら
群馬県の未成熟トウモロコンにおけるナミハダニの薬剤感受性および寄主適合性	〃	2023	77	8	14	横山薫ら
北海道におけるコナガのジアミド系薬剤感受性低下に対応した防除対策	〃	2023	77	10	19	下間悠志ら
わが国で薬剤抵抗性が発達した農業害虫一覧	〃	2023	77	10	31	森下正彦
殺虫剤抵抗性管理を行動に移す—薬剤抵抗性発達レベル指標とリスク評価—	〃	2023	77	11	6	山本敦司
三重県における薬剤抵抗性管理の取組および殺虫剤抵抗性リスク評価表の防除指導への導入について	〃	2023	77	11	17	田中千春ら
●日本植物防疫協会シンポジウム(殺虫剤抵抗性関連)						
一般社団法人 日本植物防疫協会 : https://www.jpba.or.jp/						
シンポジウム : https://www.jpba.or.jp/event/symposium						
◎平成22年1月 薬剤抵抗性を考える	講演要旨	2010				
・殺虫剤抵抗性とその対策をめぐる国際動向					1	廣岡 卓
・生産現場における薬剤抵抗性問題と対策					35	國本佳範
・我が国における薬剤抵抗性対策研究					69	野田博明
◎平成24年9月 薬剤抵抗性対策の課題と対応	講演要旨	2012				
・薬剤抵抗性対策の現状と今後の対策					1	黒谷博史
・宮崎県における薬剤抵抗性マネージメント —施設果菜類で発生する微小害虫の事例と防除対策—					53	松浦明
・薬剤抵抗性・耐性への対応と課題 —JAグループにおける取り組み—					59	天野徹夫
・IRAC:組織と役割 —海外を中心とした農業メーカーの取り組み—					65	白石 慎
◎平成29年1月 薬剤抵抗性対策の新たな展開	講演要旨	2017				
・薬剤抵抗性が疑われる事例とその対応に関する全国状況					1	白石正美
・持続的な病害虫制御を見据えた薬剤抵抗性管理と新規の殺菌剤・殺虫剤の開発					19	山本敦司
・薬剤抵抗性対策研究の取り組み状況と期待される成果					51	野田隆志ら
・世代間ローテーションを基礎とした新たな殺虫剤抵抗性管理戦略とIRACの活動					73	島 克弥
◎2019年9月 植物防疫の新たな展開の「その後」をフォローする	講演要旨	2019				
・殺虫剤抵抗性管理:農業生産現場への普及の取組み					13	山本敦司
●各種報告・記事						
茨城県の施設キュウリにおけるミナミキイロアザミウマThrips palmi Karniに対する薬剤感受性	関東東山病害虫研究会報	2018	65		115	高木素紀ら
千葉県銚子市におけるコナガ(チョウ目・コナガ科)のジアミド系殺虫剤を含む6薬剤に対する感受性	関東東山病害虫研究会報	2018	65		118	名雪将史ら
千葉県銚子市で採集したキスジノミハムシ(コウチュウ目・ハムシ科)に対する各種殺虫剤の効果	関東東山病害虫研究会報	2018	65		121	名雪将史ら
東京都のナンにおけるナミハダニ黄緑型の薬剤感受性と葉の巻きによる葉液付着量の低下が死虫率に及ぼす影響	関東東山病害虫研究会報	2018	65		139	飯塚 亮ら
川崎市の露地栽培キュウリにおけるミナミキイロアザミウマのネオニコチノイド系殺虫剤感受性	関東東山病害虫研究会報	2019	66		85	駒田 茜里ら
山梨県富士北麓地域のコナガの各種薬剤に対する感受性について	関東東山病害虫研究会報	2019	66		87	鷹野 公嗣ら

ニホンナシのニセナシサビダニおよびモザイク症状に対する各種殺虫剤の効果	関東東山病害虫研究会報	2019	66		113	清水 健ら
薬剤抵抗性管理:ケーススタディから考えよう!	関東東山病害虫研究会報	2020	67		1	山本 敦司
長野県内各地域で採集したコナガ個体群の各種殺虫剤の感受性	関東東山病害虫研究会報	2020	67		65	北林 聡ら
群馬県の施設栽培のイチゴに発生したトラスハナアザミウマに対する各種薬剤の殺虫効果	関東東山病害虫研究会報	2021	68		53	南雲 顕太ら
群馬県におけるナスのミツユビナミハダニに対する各種薬剤の殺虫効果	関東東山病害虫研究会報	2021	68		59	横山 薫ら
茨城県におけるイネカメムシ成虫の薬剤感受性	関東東山病害虫研究会報	2022	69		48	八塚 拓ら
群馬県の未成熟トウモロコシにおけるナミハダニの薬剤感受性および寄主への適性に関する知見	関東東山病害虫研究会報	2022	69		76	横山 薫ら
茨城県のネギほ場から採集されたネギハモグリバエ別系統に対する各種薬剤の殺虫効果および現地ほ場における防除効果の検討	関東東山病害虫研究会報	2022	69		80	佐藤 信輔ら
神奈川県川崎市におけるネオニコチノイド剤の効果があるワタアブラムシの発生	関東東山病害虫研究会報	2023	70		75	白川 純蓮ら
ワサビ苗に寄生するモモアアブラムシに対する各種薬剤の防除効果	関東東山病害虫研究会報	2023	70		78	片井 祐介ら